

令和6年度 数理・データサイエンス・AI教育プログラム 応用基礎レベル

自己点検・評価

梶山女学園大学大学情報教育開発センター

1. はじめに

梶山女学園大学では数理・データサイエンス・AI教育プログラム（MDASH）のリテラシーレベルの申請を目指し、令和6年度に全学教養教育科目として「AI・データと社会」を新設した。この1科目をもって令和7年度の申請手続きを予定している。また、令和6年度に改組した情報社会学部においてはこれと同時に、AI・データサイエンスを活用して課題を解決するための実践的な能力の育成を目的として「梶山女学園大学データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）」の認定を目指し運用を開始した。応用基礎レベルの対象者は令和6年度以降入学の情報社会学部学生とし、令和7年度のMDASH応用基礎レベルへの申請手続きを予定している。応用基礎レベルでは1年次科目と2年次科目があり、令和6年度に実施した1年次科目についての実施状況について、点検・評価を実施した。

2. プログラムの履修・修得状況

情報社会学部の各学科の認定に必要な科目は表1のとおりである。1年次科目のうち「AI・データと社会」については、MDASHリテラシーレベルにおいて点検・評価を行っているの
でここでは詳細は省略する。応用基礎レベルにおいては、令和6年度に実施した「情報基礎
数学」「データ分析入門」「社会調査入門」を合わせた履修状況について報告する。

表1 応用基礎レベルの対象科目と修了要件

学部・学科	科目名	修了要件
情報社会学部 情報デザイン学科	AI・データと社会（1年次） 情報基礎数学*（1年次） データ分析入門*（1年次） データサイエンス入門（2年次）	4科目（8単位）を 修得すること
情報社会学部 現代社会学科	AI・データと社会（1年次） 社会調査入門（1年次） 社会データ分析基礎（2年次）	3科目（6単位）を 修得すること

*学科の卒業要件必修科目

【情報デザイン学科】

- 「情報基礎数学」(1 年)、「データ分析入門」(1 年)は学科必修科目であるため、全員履修している。
- 「AI・データと社会」は教養教育科目の選択科目であり、履修者数は 37 名である。履修率は 49%である。また、単位修得率は 92%である。
- 令和 6 年度に 3 科目を履修修了した学生数は 34 名で修得率は 45%である。
- なお、令和 7 年度には 2 年次開講の「データサイエンス入門」を履修者は 56 名(履修率 75%)である。

【現代社会学科】

- 「社会調査入門」(1 年)の履修者 44 名のうち、「AI・データと社会」の修得者は 17 名である。令和 6 年度に 2 科目を履修修了した学生は 17 名で修得率は 30%である。
- なお令和 7 年度に 2 年次開講の「社会データ分析基礎」の履修者は 29 名である。

3. 学修成果

学生による授業アンケートにおいて「授業はおおむね理解できたか」や「この授業を受けてものの見方や考え方を広げることができたか」「授業に満足したか」などの回答は良好なものであった。

情報デザイン学科は 3 科目、現代社会学科は 2 科目を修得した学生、それぞれ 34 名と 17 名について、修得した成績(GPA)について分析し、両学科とも成績分布等から科目で設定した到達目標を達成したと評価する。

なお、本プログラムは 2 年次科目を含むため、令和 7 年度の学修状況を確認し点検・評価をする予定である。

4. 令和 7 年度の教育プログラムの改善に向けて

令和 7 年度も教育プログラムを着実に実施し、点検・評価を実施していくことを大学情報教育センターにおいて確認した。

令和 7 年 5 月 9 日